

国保税、またまた値上げ

年をとってからくらいは
安心してくらしたい

国民健康保険運営協議会・・・6.9%値上げの答申 (後期高齢者医療費負担分21.4%の大幅値上げを含む)

命の砦である健康保険ですが、国が「国庫負担金」を大幅に減らしてきたこと、川西市は平成21年度、一般会計からの繰り入れ額を前年比3億7千万円減らして値上げ。「払いたくても払えない」「払ってしまうと生活できない」状況に拍車をかけました。

ですが、また値上げの答申です。

来年度は、70歳～74歳の方の医療費が2割負担に、後期高齢者医療保険料の値上げなど、保険税も医療費もさらに負担が増えます。日本共産党議員団は、国保税引き下げに取り組んでいます。

わずかな年金から
何でも天引き。死ぬまで
むしり取られるなんて



9億円の基金を還元、介護保険料引き下げを 「高齢者の尊厳を守る介護保険制度に」

他市に比べ高齢化率が高く、「介護認定」割合が低い川西市。平成20年度決算で、「9億円」の基金積み立てが明らかになりました。

日本共産党議員団は、介護保険がはじまって10年、介護を必要とする方に十分なサービスが提供されているか、保険料の引き下げ、サービス利用料の軽減など住民から集めたお金を還元すること、事業所の介護報酬適正化などの点検もしています。



無責任きわまりない 「国崎クリーンセンター」



4月から本格稼働の1市3町広域ごみ処理施設。

試運転時に「排ガス基準を守れない」ことが判明、「空焚き」後、ゴミを投入することになりました。

その後、「高性能・高規格の炉のため、必要な経験、資格が必要」として民間委託。7月になってから「資格、経験」のない職員が3人も居ることが明らかになる、「不適合事象」という「事故」が頻繁に起きるなど、施設組合・企業両方の管理・運営体制のずさんさが浮き彫りになりました。

日本共産党議員団は、「委託料の返還」「直営にもどすこと」を要求。住民の安心・安全の確保、信頼を得るためにも情報公開、説明責任を求めています。

請願・意見書

● 就学前の子どもの医療費の 無料化求める請願(6月議会)

賛成は日本共産党だけ、他党・他会派は反対。

反対意見

「実現させたいと思うが、川西の財政状況から難しい」

● 現行保育制度の堅持・拡充、 予算の大幅増額を求める意見書(9月議会)

日本共産党、自治市民ク、保守が賛成。
民主市民ク、公明党が反対。

民主市民クが反対討論

「国が地域の実情を無視して一律に保育基準を
設けることが正しいのか、議論せねばならない時代だ」

定時制高校の募集停止計画撤回 を県教委に申し入れ

県教育委員会は、川西・伊丹・宝塚の定時制3高校について平成24年度から募集停止を発表。定時制高校は、働きながら学ぶ生徒や、さまざまな困難をかかえた生徒たちが学ぶ最後の砦になっています。その必要性はますます高まっていることから、生徒・父母や関係市町からも「存続を」の声が続出。一方、新設予定の多部制高校は、公共交通機関が不便で通学困難な生徒が出るなど、問題もあり募集停止撤回を求めています。



県教委に申し入れする日本共産党議員団

住民の安全安心を守るよう
さらに全力でがんばる

日本共産党

